

まちだ未来の会第7回学習会記録

「公共施設再編計画」を読み解く・採点する!?

日時：2017年11月23日（木）勤労感謝の日 午後2時～4時半

場所：町田市民フォーラム 第2学習室

参加者：23名

1. 挨拶と進行の説明 （ 菌田 ）

今回は、都市計画・まちづくり分野のコンサルタントに町田市の公共施設再編計画を読み解いていただき、その後、出席者に質問や提案を、それぞれ黄色の紙と青い紙に書いて貼りだしてもらい、論議します。

2. コンサルタントK氏 講演 （プロジェクター・資料使用）

はじめに

市民にとって、再編計画は唐突に思われるが、いろいろな背景があり、国から計画をたてるよう指示があり、全国どこでもやっている。補助金の交付により誘導。町田市の計画は、公共施設等の老朽化対策とコストを下げる、新たな価値の創設を前面に出している。

まちだの公共施設のなにが問題か？

昭和40～60年に建てられた施設が多く、老朽化、防災、環境、バリアフリーの面が問題になる。しかし、財布には限りがあり、費用維持管理に財政は厳しくなると予想される。こうした問題の対応策として、新しい建物を造らず、今ある施設を有効活用。集約・複合化で整備費用を減。施設の量を減らし、維持管理費用を減。施設の長寿命化で、維持管理費を減。という市の計画は、教科書通りと言える。

再編の方向性を確認すると、

- 施設の存続は3種
 - ・廃止。（機能移転や民間への譲渡が想定される。）
 - ・一部廃止。（近隣の類似施設に集約が想定される。）
 - ・存続。（廃止や集約が想定されていない。）

民間委託の方向性は2種

- ・民間委託
- ・現状維持。

存続…庁舎、文化ホール（民間委託?）、生涯学習施設。

子どもセンター・子どもクラブ、保育園・児童発達支援センター、学童クラブ等子育てについては拡充。（学校を中心とした複合化?）

スポーツ施設。（民間委託。集約化?）

一部廃止…保健施設（健康福祉会館と保健所中町庁舎の集約化）

教育文化施設は縮小

図書館(民間委託検討)、美術館・博物館等、学校

行政出先機関は縮小

市民センター、市民センター+連絡所

市民センター+コミュニティーセンター

廃止…高齢者福祉施設、障がい福祉施設は民間サービスへ。

これらの計画をコンサルKが採点すると、、、△

- ・用途によっては、廃止や削減まで踏み込んだ内容。
- ・再編により市民生活の質が大きく損なわれることがないか、新たな価値が創出できるかについては予断を許さない。

今後の課題と対応 (案)

課題1：市政全体で整合性がとれているか？

- ・総量圧縮といいながら、大規模な開発計画や構想がありそう。(南町田グランベリーモールの再開発など)
- ・厳しい社会、経済状況を踏まえた維持管理費用の想定ができていないか。

課題2：削りやすいところから削る計画になってないか？

- ・最大の負担となる学校施設に手をつけなければ他でいくら頑張っても無理。
- ・この部分の数値目標がなければ、他の施設は際限なく「再編しなければならない」ことになる。

課題3：集約化・複合化によっておこる問題は何か？

- ・施設の立地や歴史等は効率性や収益性に劣るのか。
- ・どうしても身近にあってほしい施設を維持する方法があるのでは？
- ・一部の人に発生する不便を補うような新しい魅力を創出できるか。

課題4：民間委託だけが運営費圧縮、サービス向上の方法か？

- ・T S U T A Y A問題。管理運営費が市外へ流出するという問題も。
- ・良い民間活用と悪い民間活用を見分けることが重要。
- ・市民団体が場の運営を担うことで人材育成や内需拡大?にも繋がるか。

対応1：市政や計画全体の問題を指摘して見直しを迫る。

- ・集約予定の施設を守るため、安易な民間委託を回避するため問題提起を行う。
- ・市民の意見が反映された計画となるよう参加の場を要求することも重要。
- ・具体的には署名活動やパブリックコメントへの意見提出、選挙での争点化。

対応2：“使う専門家”である市民の視点から施設の在り方をまとめる。

- ・再編計画の全体ではなく特定の施設について「こうあるべき」「こんな機能が欲しい」「場所や大きさのイメージはこう」「こうすれば維持管理も容易

になる」といった具体的な提案をまとめる。

- ・バラバラなアイデアではなく、できるだけ説得力のある計画としてまとめることで、関係者が受け止めざるを得ないものにする。

対応3：ゲリラ活動的に公的機能の提供を行う。

- ・小さな実験・プロジェクトで実績を積み上げる。
- ・たとえば、廃止予定の施設の活用プロジェクトに取り組む。空き店舗のオーナーと交渉して私的な集会施設をオープンするなど。
- ・こうした勉強会も公共施設の活用の一環か。

各地の例

- ・学校の再編 埼玉のある小学校 空き教室に市民が参加して高齢者センター、子育てセンターを入れた。
岩手 大槌町 4つの小中をひとつにまとめ、小中一貫校に。
- ・金沢市 町の活性化 空き家等を利用して高齢者施設をいろんなところに点在化。
- ・みんなの森岐阜コスモス 複合施設、2階に図書館。
- ・鹿児島まるやガーデン：元デパートに商業施設を入れるとともに、各階にガーデンを作って、市民活動に使っている。賑わいの相乗効果。
- ・日野市 空店舗を高齢者サロンに： 1年に延べ1万人が使用。
- ・指宿市 図書館に指定管理の話があった時、図書館ボランティアががんばり、クラウドファンディングで1000万円集め、移動図書館を作った。
- ・小布施市 図書テラス：町中図書館として、図書館を開きたい人が開く。(今停滞中)

3. 出席者、質問と提案を模造紙に貼りだす。

質問を中心にK氏が答え、出席者と論議。

- ・民間委託は本当に費用が下がるのか？

K：下げる方法として2つある。正規の職員でなく、非正規にすることでコストを下げる方法と、民間に儲け口を作って、その代わりに、整備などの仕事をするようにしてコストダウン。サービスの中身は担保されるのか、市民の監視が重要。

- ・30年後の行政単位はどうなるか？単位に沿って計画をたてるべきではないか？

K：町村合併はこれからはないかと思われるが、広域で連携しているのは、インフラ面で進んでいる。必要な施設が近くになくなるかが問題だろう。

- ・NPOなどが、役割を担っていくことが、かならずしもいいか？持続性が保てるか？

K：図書館ボランティアがNPOを立ち上げた例では、最初は受けられたが、ゆくゆくスト競争で敗れた。

- ・流山市のNPOは、5年目の入札で落ちた。藤沢市では、NPOで人を維持していく財源がなく、やはり公的な制度が必要。
- ・小中一貫校は、うまくいっているのか確認できているのか？

K：老朽化の基準は、国が一律の計算シートを出していて、機械的であり、建物の全体をチェックしているものではない。

クラウドファンディングの例の補足：たくさん集めた地域に移動図書館の命名権をえるというリターンがあった。

・障がい者施設はどうなっていくか？

K：譲渡先として自助グループに委ねていく計画があると思われる。

・集会施設の利用状況は把握されているのか？

K：今のところはあり方の検討段階ではないか。

・子育て施設の拡充の内容は？

K：個別にはわからない。

・実際は、今日の想定よりも厳しいものではないか？

K：計画は、全体像を把握してザックリ立てられており、ここからは読み取れない。

・10地域の窓口施設や集会施設をなくし、効果があるのか？

K：市民の立場から言っていないといけない。

個別の施設の提案をしていく。

・市全体の整合性—廃止や縮小計画と南町田開発、美術工芸館新設、野津田サッカー場計画など、どうなっているのか？野津田は市長直轄のプロジェクトだからと別枠になっている。

K：市長と市民の見解がずれていると思う。

・災害時のトイレ問題は早急にとりくむべきである。

K：公園、学校の計画で取り組むべき大事なことだ。

・複合施設の構想は美辞麗句だ。

K：行政とやり取りしていくべきだ。

集約化せず、その場にあるものを生かしていくほうがいい。

地域をひとつの複合体として、施設を分散させたほうがいい。

・企業などの休みの日に施設を活用できないか？例えば、桜美林大学の図書館など。

・学校の複合化、集約化について

・学校生活を守るため、安易に複合化すべきではない。

・交通の便が厳しい。歩いて行ける場所にひつよう。

・昭和17年生まれのものからすると、当時1小と、1中しかなかった。緑のおばさんをたてるとか、やり方もあるのではないか？

・地域の防災拠点として大事である。

・減築（6階を2階建）して耐震性を生む例もあった。（町田市の学校は、耐震工事は完了している。）

・図書館について

・管理委託については、しっかりした専門家に。

・すべての図書館がフル機能でなくていい。蔵書も近隣とシェアする。

- ・知の集積を大事にする例は？

K：町田はスポーツで押している感があるが、文化で押している自治体はある。Ex，太宰治の三鷹市。武蔵野プレイスは地下に青少年向けがあり、教育機能を持っている。

- ・鶴川図書館は市民の提案が必要。
- ・さるびあ図書館は、長寿命化して残したい。
- ・場としての図書館が大事。
- ・木曾山崎図書館の事業仕分けで、来させる努力をという指摘があった。
- ・日野図書館の例・・・おひろめ会で豊田地ビールが出たとか。
- ・電子書籍などが普及しているが、図書館の書架の本を手にする出会いを大切にしたい。(図書館で夜間アルバイトしている方)
- ・呼び込む企画を。PRが民間に比べ、へた。ゲリラ活動へ。
- ・遠くに行けない人のために、各学校図書館と連携したらどうか？
- ・学校図書館は、子供にあわせた蔵書構成であり、その枠を広げることは困難である。学校のセキュリティの問題もあるか。(元図書館長)
- ・美術館・博物館について
 - ・アーカイブ機能は大切であり、縮小はありえない。
 - ・収蔵庫と展示場所をわけるといのは？・・・わけられない。
 - ・町田市だけではなく、広域連携の場として考える。

4. まちだ未来の会から (菌田)

これから再編計画の対案づくりをしていく。問題点をだし、施設が分散しているほうがいいことをゲリラ活動でしめしていきたい。

5. 今後の予定 (守谷)

- ・鶴川図書館存続を求める請願は、9月議会で採択された。
- ・市民生活に根ざした「公共施設再編計画」の策定を求める請願は、請願項目の2.の一部文言を修正して12月議会の継続審議にかける。
文言の修正：「各施設の具体的な計画案→各施設について想定される複数の計画案」
- ・文学館の存続を求める請願の署名は、現在2257筆となり、それに地元の分が加わる。明日締切だが、12月5日提出で13日まで追加は受けつけられるので、ご協力ください。2月に市長選があるので、その後の継続審議はリセットされる。
- ・第8回学習会はさるびあ図書館をテーマに行います。
- ・これから市民側の再編計画を作っていく。1月学習会は、市議会議員との意見交換を予定。
- ・11月29日特別イベント “ジャズエイジ イン MACHIDA” を成瀬駅前のカフェ イマジンで開催。

(記録・庄司)